



明德學館修學部

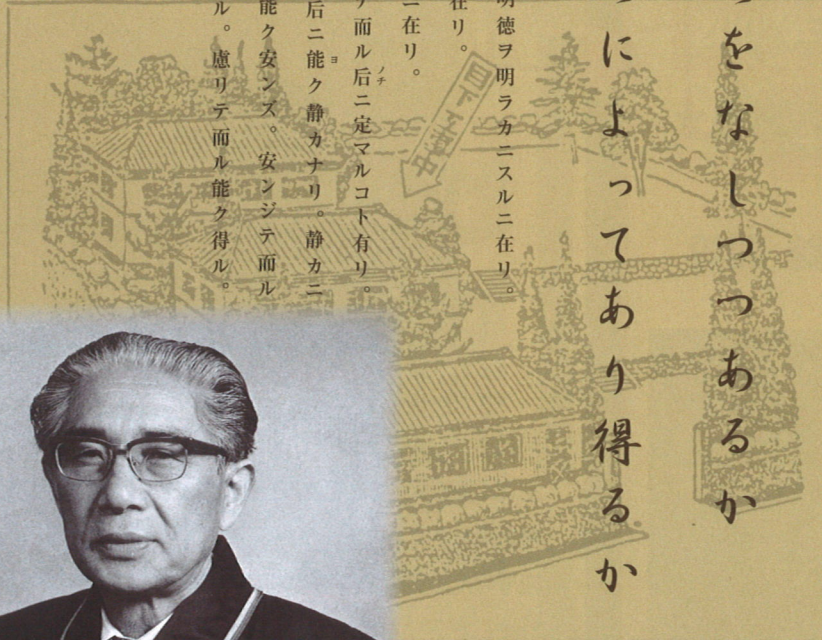
學則並ニ入學案内

吾何であるか

吾何をなしつつあるか

吾何によってあり得るか

大学ノ道ハ、明德ヲ明ラカニスルニ在リ。
民ニ親シムニ在リ。
至善ニ止マルニ在リ。
止マルヲ知りテ而ル后ニ定マルコト有リ。
定マリテ而ル后ニ能ク静カナリ。静カニ
シテ而ル后ニ能ク安ニス。安ンジテ而ル
后ニ能ク慮ル。慮リテ而ル能ク得ル。



徳 明

【明德学館入学案内】



【創立者 石田鑣徳先生】

昭和から平成、そして令和へ

躍動する星城

—— 星城大学編 ——

特集

- ★星城大学のあゆみ
- ★名古屋丸の内キャンパス 本格開校 / でいっしゅCaféオープン
- ★東海キャンパス SECC教室 / 平和のバラ

学園アラカルト / 平成30年度学園財務情報

星城懇話会 総会開催 / 中嶋一貴選手 ルマン2連覇

特集

昭和から平成、そして令和へ

★ 星城大学のあゆみ

1941年 (昭和16年)

★石田鑑徳先生 私塾明德学館 開設



[明德学館生徒とともに]

創立者石田鑑徳先生は、昭和16年9月、旧制中学教員の傍ら、「向学心に燃えるものの、経済的に余裕のない青年に学問の場を」との志に基づき、私塾「明德学館」を設立されました。創立者によって掲げられた建学の精神は、

- 1 「報謝の至誠」
- 2 「文化の創造」
- 3 「世界観の確立」

であり、この建学の精神は、その後現在まで学園を貫く支柱となっています。

「昭和の松下村塾」を目指して作られた明德学館には寄宿舎があり、石田鑑徳先生は生徒と寝食を共にし、生徒を指導されました。

しかし、昭和19年7月、戦火の厳しさが増す中、明德学館は3年足らずで閉館のやむなきに至りました。

1945年 (昭和20年)

★名古屋英学塾 開設



[名古屋市中区栄一丁目]

終戦からわずか4か月後の昭和20年12月、石田鑑徳先生は、英語教育とともに、「日本古来の東洋道徳」と「新しい西洋の倫理観」を一つにし、世界平和を希求する人材を育成することが急務であるとして、「名古屋英学塾」を設立されました。

「名古屋英学塾」はその後「名英予備校」となり、多くの受験生を志望大学に送り出しました。



[教壇に立つ石田鑑徳先生]

昭和38年、石田鑑徳先生は、青少年の精神的な未熟さに憂いを感じ、人間づくりをする教育の必要性を実感し、「星城高等学校」を設立。更に、昭和46年には、人間教育には、幼児期の指導が一番大切であるとの信念から「星の城幼稚園」を設立されましたが、昭和50年12月、享年69歳、まだまだ志半ばの年齢で急逝されました。

躍動する星城

楽しい×華やか×知的

— 夢、実現大学 —

星城大学編



1989年 (平成元年)

★名古屋明德短期大学 開学



[東海市富貴ノ台二丁目]

建学の精神の実現を図るためにも、大学の設立は創立者の宿願でもありました。

平成元年、創立者の偉業を受け継いだ現石田正城理事長により、「名古屋明德短期大学」が設立されました。



2008年 (平成20年)

★星城大学大学院 設置

健康支援学研究科を設置
大学 新4号館竣工



2002年 (平成14年)

★星城大学 開学



平成14年、「名古屋明德短期大学」を発展的に継承し、学園創立60周年を記念して、事業貢献をめざす経営学部と医療貢献をめざすリハビリテーション学部からなる4年制大学として、「星城大学」が設立されました。

2016年 (平成28年)

★星城大学名古屋丸の内キャンパス 設置



[名古屋市中区丸の内一丁目]

特集 昭和から平成、そして令和へ

躍動する星城

星城大学編



名古屋丸の内キャンパス

名古屋丸の内キャンパス 本格開校

令和元年、丸の内キャンパスは AI、ICT、IoT の知識技術が集約された「知の拠点」を目指し、経営学部 1 年生を迎え入れました。先輩がいない中、学生は自分たちが「丸の内キャンパスを作り上げていく」という高い意識の下、毎日の学修に励んでいます。キャンパス内では、学生ラウンジ、自習室を開放し、空き時間を有効に活用することができます。WiFi 環境も 1 階から 8 階までストレスなく利用



【丸の内キャンパス開講!】

が可能で、1 階のカフェでも学内 WiFi が利用できます。コーヒーを飲みながら論文検索をするなど、大人の仲間入りをした学生の姿が初々しくもあります。

東海キャンパスの図書館に蔵書される書籍は、Web システムを活用し自宅からも予約可能で、最短 2 日間で丸の内キャンパスへ配達されます。近隣の愛知県図書館との併用で、東海キャンパスを上回る書籍に触



【熱心に受講する学生】

課外活動では、新規サークルの立ち上げなどで有志がリーダーとなり、手探りで活動をしています。また少人数のメリットを活かし、キャリア面談など教職員が一丸となってきめ細やかな学生サポートを行っています。



【おしゃれな空間】

丸の内キャンパス 1 階に「でいっしゅ Café」がオープンしました。イギリス調のインテリアで統一されたおしゃれ系カフェでありながら、ワンコインランチなどのメニューを取り揃え、学生の毎日の空腹を満足させています。お弁当やサンドイッチ、パスタ、牛丼、カレー、スープなど、意外(?)にも学生向けメニューの充実が目を見張ります。



【1階でいっしゅCafé入口】

丸の内オフィス街で働く方にも好評で、7:30 オープンと同時に入店し店内で寛く、慌ただしくコーヒーをテイクアウトする方など賑わいが絶えません。デザートにマカロンやカヌレも取り揃えるなど、女性には特に好評です。

カフェで授業準備をする教員も多く、教員同士の打合せにもカフェを利用するなど知性漂うカフェは、オープンからまだ半年も経たない中、丸の内オフィス街に早くも馴染んでいます。

休日は、名古屋城へ訪れる観光客の方にも人気です。諸外国からのツアーも多いようです。名古屋名物の味噌カツをはさんだ「カツサンド」が好評で、ボディランゲージでコミュニケーションをはかりながら友好を深めています。



東海キャンパス

世界への飛躍を目指し SECC 教室



【楽しく活用されています】

*「SECC」…Seijoh English Communication Center

「SECC」には、ネイティブ、英語教員が定期的に在席しています。学生は、英語のみでの自由な会話により、授業でわからなかった事を聞いたり、発音のチェックをしてもらったり、プレゼンテーションの練習などができます。「SECC」を活用して、国際社会で通用する英語力、コミュニケーション力を育成することが期待されています。

The primary goal of the SECC is to provide students with opportunities to use their English and build their intrinsic motivation to further their study and use of English.

令和元年、東海キャンパスに、英語力アップを目指す学生のため、英語交流スペース「SECC」が設置されました。



【素敵な空間がつけられました】

平和への願いを込めて 平和のバラ



【原爆ドームの前に咲くバラ】

広島市から寄贈された平和のバラが元気に生育しています。

昨年秋、本学赤岡学長の秋の受勲に関係し、広島市松井市長と面談された際の話から、広島平和記念公園のバラ及び長崎の永井博士宅の庭で被爆し、今は広島市の平和大通りにあるバラの穂木が2月、本学に寄贈されました。バラの穂木は、武豊町のバラ園で生育いただいていたが、5月無事に、本学庭園に植え替えることができました。

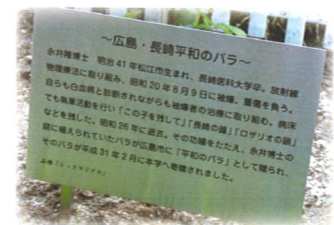
平和のバラは、平和の象徴として、石田鏡徳先生の銅像前に植え替えられ、日々元気に成長しています。



【松井市長と歓談する赤岡学長】



【きれいに咲いています】



学園 アカルト

硬式野球部「星城旋風を巻き起こせ!!」

星城大学

元号が『令和』に改まった今年度、星城大学で更なる飛躍を期待できるのが、硬式野球部です。4月から新たに本学の硬式野球部OBである西濱幹弘さん（元中日ドラゴンズ育成選手）が加わり、コーチ陣も充実しました。今まで以上に練習に熱が入り、活気のある声がグラウンドに響いています。



【白熱の試合】

「2019年度愛知大学野球春季リーグ戦」では、2部Aリーグ2位となり、残念ながら1部昇格は果たせませんでした。負けた試合はいずれも接戦で今後期待ができる内容でした。

現在、部員数は118名となり、ポジション争いも激しさを増しています。また、東海市に、長年の願望であったグラウンドが新設される予定です。令和元年、星城大学硬式野球部の活躍にご注目ください!!



【仲間への活気あふれる声援】

地域との協働による高等学校教育改革推進事業（グローバル型）

星城高等学校



【SGL活動開講式】

星城高校は今年度、文部科学省から「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（グローバル型）」の指定を受けました。これまでのSGHアソシエイト活動の取組の中で、生徒たちは主体的に様々な提言をしてきました。

今年度から実施する「SGL〔スーパーグローバル・リーダーの育成〕地域協働事業」では、地元豊明市、星城大学、豊明市国際交流協会、豊明市社会福祉協議会などとコンソーシアムを形成します。

そして、豊明市が抱える地域課題「外国人市民との多文化共生」と「高齢市民の健康福祉」をテーマとして、生徒たちは豊明市の外国人市民と高齢市民が豊かに暮らせる新たなコミュニティを創成するという探究プログラムを進めます。



【意気込みが感じられます】



【SGL活動始動!】

第6回キンポールスポーツ大会

星城中学校

5月25日（土）東海市民体育館においてキンポールスポーツ大会を行いました。今年で6回目となるこの大会、星城大学スポーツマネジメントコースの学生さんとキンポール連盟の協力のもと、今年も大いに盛り上がりました。



【チーム協力してのプレー】

各チームには中学生だけではなく、ゲスト選手として生徒の家族の方々、星城大学の学生さん、そして本校の教員も加わり試合をしました。初めは連盟の方々にアドバイスをいただきながらのプレーでしたが、次第にそれぞれのチームが互いに協力し作戦を考えながらプレーするようになり、試合が白熱しました。スポーツを通して仲間との絆を深めることができた一日となりました。



【仲間との絆が深まりました!】

土曜参観日

星の城幼稚園

5月から元号が平成から令和に変わり、新緑のまぶしい季節となりました。園児たちは、4月の入園、進級から約1か月が経ち、先生や新しいお友達とも仲良く楽しく過ごすことが出来るようになり、幼稚園生活にも慣れてきました。



【親子で力を合わせます】

大型連休後の5月12日（土）に「土曜参観日」を行いました。園児たちは、親子体操や各ゲーム、親子ハーフリレー、保護者の皆さんによる綱引きなど、親子でふれあいがながら楽しい時間を過ごしました。



【綱引きをがんばるお父さん方】



【みんなでがんばりました!】

「土曜参観日」は、保護者の皆さんにも、お子様の成長ぶりを見ていただく良い機会であり、保護者同士の交流の場にもなっています。

学院セミナー

星城大学リハビリテーション学院



【新入生・在校生一緒に取材へ出かけました】

新入生が今後の学院生活をより一層円滑に送ることを目的として、学院セミナーを開催いたしました。

セミナーは、学年の隔たりなく皆で共同作業をすることにより新入生と在校生との親交を深め、より充実した学院生活を送れるきっかけになればとの思いから毎年開催しています。セミナーでは、1年生から3年生までの学生全員が参加し、テーマに合わせて紹介ムービーを作成します。今後の学院生活や勉強において先輩へ相談がしやすくなる機会になったと思います。午後からは制作した動画をグループ毎に発表しました。学生たちは、声をあげて笑ったり、驚嘆の声をあげたりしながら楽しく鑑賞していました。新入生と在校生との交流が深められた有意義な1日となりました。



【制作ムービー発表会】

平成30年度学園財務情報（決算の概要）

資金収支計算書

収入の部			支出の部		
科目	決算	比率	科目	決算	比率
学生生徒納付金収入	2,197,848	20.8%	人件費支出	2,188,435	20.7%
補助金収入	794,426	7.5%	教育研究経費支出	638,691	6.0%
前受金収入	522,837	4.9%	管理経費支出	272,722	2.6%
付随事業・収益事業収入	24,669	0.2%	施設関係支出	121,013	1.1%
手数料収入	122,197	1.2%	設備関係支出	16,588	0.2%
寄付金収入	27,243	0.3%	その他の支出	6,573,323	62.1%
その他の収入	6,409,621	60.5%			
前年度繰越支払資金	490,796	4.6%	翌年度繰越支払資金	778,865	7.3%
収入の部合計	10,589,637	100.0%	支出の部合計	10,589,637	100.0%

事業活動収支計算書

収入の部			支出の部		
科目	決算	比率	科目	決算	比率
学生生徒納付金	2,197,848	63.8%	人件費	2,186,048	65.1%
経費等補助金	794,426	23.0%	教育研究経費	872,614	26.0%
付随事業・収益事業収入	24,669	0.7%	管理経費	287,500	8.6%
手数料	122,197	3.5%	その他	10,047	0.3%
寄付金	27,243	0.8%	事業活動支出の部合計	3,356,209	100.0%
その他	282,147	8.2%	基本金組入前当年度収支差額	90,321	-
事業活動収入の部合計	3,446,530	100.0%	基本金組入額合計	△ 212,544	-
			当年度収支差額	△ 122,223	-

貸借対照表

資産の部			負債の部、純資産の部		
科目	本年度末	比率	科目	本年度末	比率
固定資産	19,144,218	95.6%	固定負債	1,257,406	6.3%
流動資産	886,190	4.4%	流動負債	884,896	4.4%
			基本金	17,819,448	89.0%
			繰越収支差額	68,658	0.3%
資産の部合計	20,030,408	100.0%	負債及び純資産の部合計	20,030,408	100.0%

●資金収支計算書は、その年度の学園の諸活動に対応する収入及び支出のすべて、並びにその年度における支払資金の収入及び支出の状況を明らかにするためのものです。そのため事業活動収支計算書とは異なり、次年度の収入となる前受金収入や、施設設備に関する支出及び借入金返済支出など資産・負債の振替、資金運用等についても計上されています。

●事業活動収支計算書は、収支の均衡の状態とその内容を明らかにすることによって、学園の経営状態を把握するためのものです。そのため、資産・負債の振替等に伴う収支などは除かれ、また退職給与引当繰入額、減価償却額、資産処分差額、現物給与等、資金の収支を伴わない金額が計算されたうえで年間収支をとらえています。

●貸借対照表は、平成31年3月31日現在の財務状況を示すものです。

星城懇話会

総会&シャンソン鑑賞



6月28日(金)、カフェ・コンセル・エルムにて「星城懇話会総会」が開催されました。各審議事項の承認、報告があり、総会は終了いたしました。

続けて行われたシャンソン鑑賞は、「会員の皆様へぜひ、心震わせる感動を味わい、青春を思い出して楽しんでいただきたい」という石田正城理事長の思いから企画、実現したものです。



【熱唱の宮入公子さん】

宮入公子さんの歌と加藤修滋さんのピアノによるシャンソン鑑賞が始まると、皆様の手拍子も加わり会場は大変な熱気に包まれました。



【フランス芸術文化勲章受章ピアニスト加藤修滋さん】

ステージ合間のティータイムでは、フランスのお菓子と紅茶をお楽しみいただきました。おくつろぎの間、ピアニストの加藤さんから大変興味深い、星城高校とシャンソンとのゆかりのお話もありました。

ステージ最後には、フランスの歌としてよく知られている「オー・シャンゼリゼ」をみなさんと歌ったり、手拍子したりと会場が一体となる楽しいひと時となりました。



中嶋一貴選手

(星城高校卒業生)

ルマン2連覇

©中嶋企画



【右から2番目 優勝カップを掲げる中嶋選手】

中嶋一貴選手は、星城高校平成15年卒業の38回生で、世界を舞台に闘う日本を代表するレーシングドライバーです。

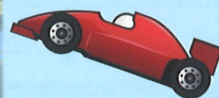
中嶋選手は、昨年6月、フランスで開催された伝統の自動車耐久レース、ルマン24時間レースで悲願の優勝を果たし、史上初の「日本車で優勝した日本人ドライバー」となりました。



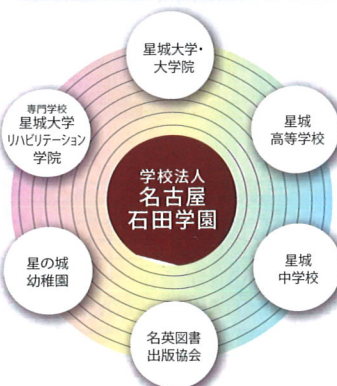
©中嶋企画

中嶋選手が乗るトヨタ車は、今年6月16日に行われた第87回ルマン24時間レースにおいても優勝し、堂々の2連覇を達成しました。

星城高校卒業生は、中嶋一貴選手をはじめ、弟の中嶋大祐選手(42回生)、松浦孝亮選手(33回生)、嵯峨宏紀選手(37回生)がレーシングドライバーとして活躍しています。



©中嶋企画



学校法人
名古屋石田学園

〒460-0008
名古屋市中区栄1丁目14番32号
Tel: 052-221-8921
Fax: 052-689-6003
URL: <http://www.n-ishida.ac.jp/>